

令和6年度（2024）事業報告

一般社団法人地図協会の令和6年4月1日から令和7年3月31日までの事業執行状況を報告します。

I 地図の利用・普及および地図情報の発展に資する事業（実施事業）

1. 「測量の日」関連事業

国土地理院関東地方測量部および当協会を含む関係団体で構成する、「測量の日」東京地区実行委員会が主催して「くらしと測量・地図展」が令和6年6月5日（水）～7日（金）に新宿駅西口広場イベントコーナーにて開催されました。当協会は、主催者団体として昨年に引き続き「地図を楽しむ」をテーマに「地図を楽しむ」、「地形図の効用」、「地図から見るSDGs探求」に関する展示のほか、地形図・旧版地形図及び地形図販売店（会員社）の解説展示に加え、「地形図のある学校図書館の創設事業」の紹介と来場者向けに日本地図、世界地図の無償配布を行いました。

2. 「地図展」の開催

地図展は、広く国民に地図を通して国土や地域について理解と親しみを深めていただくとともに、より一層地図に親しみ、地図を利用していただくことを目的に、毎年一回全国の主要都市で開催しています。

令和6年度も一般財団法人日本地図センターを中心に当協会を含む関係7団体の「地図展推進協議会」主催で、北陸新幹線の延伸等により今注目を集める、歴史と伝統に色づく金沢市において、27年振りとなる地図展を開催しました。これからの金沢市のミライを見つける機会として、地図と空中写真の展示を基に文化と歴史、発展を振り返り、地図・測量の楽しさと有効性について紹介することで、地図と金沢市について理解を深めていただきました。当協会は、主催団体として五本木理事長が開会式に出席し、峰村理事、大貫理事が運営支援の参加協力をしました。

開催日時 2024年9月28日（土）～10月6日（日）

10:00～18:00（最終日17:00まで）

開催場所 金沢駅東もてなしドーム地下広場 金沢市木ノ新保町

主催：地図展推進協議会、国土地理院北陸地方測量部

来場者数 4,124名

3. 児童生徒地図作品展の後援・表彰及び地図教育支援活動の推進

- 1) 広島県地理作品展運営委員会より、「第63回地図並びに地理作品展」後援名義使用について申請があり、地図協会賞と副賞を寄贈しました。
- 2) 鳥取県地域社会研究会より、「第26回、児童生徒地域地図発表作品展」後援名義使用について申請があり、理事長賞と副賞を寄贈しました。
- 3) 札幌市教育地図研究会より、「第46回札幌市児童生徒社会研究作品展」後援名義使用について申請があり、特別賞と副賞を寄贈しました。

4. 一般の方々へホームページから「月刊 地図の友」の発信

国土地理院発行の基本図（1万、2.5万、5万分1地形図、20万分1地勢図、小縮尺図等）及び数値地図（電子地形図25000等、数値地図（国土基本情報）、標高データなど）の令和6年4月～令和7年3月までの新刊情報を「新刊刊行」としてまとめ、情報提供しました。

5. ホームページの更新

当協会のホームページについては、月1回の情報更新の継続に加えて、内容の充実を図るため、定例の業務執行会議において継続検討しています。

6. 地形図のある学校図書館の創設事業の実施

1. 背景

1) 地理総合の必修化

1973年実施の学習指導要領により、高校地理は必修科目でなくなり、国民が地図を学習する機会は激減しました。しかしながら、今般、約50年ぶりに2022年度から高校で地理総合が必修化されたことを受け、地形図を活用した学びの重要性が高まっています。

2) 現状の課題

国土地理院の調査によれば、ほとんどの学校図書館には地形図がなく、地理専門の教員も少ない現状です。また、防災や地域理解の教育が強く求められる中、地形図が持つ可能性が十分に活用されていないのが現状であります。

2. 目的

これらの課題を解決するため、地図協会と日本地図センターは「地形図のある学校図書館創設」実行委員会を設置し、地形図を学校図書館に配備して、子供たちが地形図に親しみ地理的思考力を養い、防災や地域理解の基礎力を育むことを可能にする、学習環境の整備を目指すこととしました。

3. プロジェクトの内容

首都圏を中心とした全国約80校をモデル校として、実行委員会が開発した地形図等セット。地域の新旧地形図など約100枚、時代ごとの空中写真、これらの利活用方法の解説冊子、模範事例集等を配備し以下の活動をしました。

1) 指導と活用支援

地図の専門家が学校を訪問し、教員に対して地形図の活用方法を助言指導。防災教育や地域探索学習の実践を支援しました。

2) 活用ガイドラインの提供

地形図の具体的な使い方を示したガイドラインの利用方法などの助言をし、学校での授業や探索活動に活用していただきました。

3) 生徒の学びの記録

生徒たちが地形図を利用した活動や調べ物を通じて、どのように感じ、成長したか、その成果と感想を収集しました。

4. 成果の概要

地形図は、1枚1枚の単体のままでは、記載情報の読み取りや理解扱いが難しく、十分な調べ物ができないことが多々あります。本事業では、当該学校が望む教室での授業や学校図書館でのリファレンス内容に即した約100枚以上の地図を地図帳のようにパッケージ化し、解説付きの1冊の資料とすることに成功しました。

各モデル校では、学校図書館内に配備された地形図等セットの専用コーナーや閲覧機を用意し、児童・生徒の目に常に触れさせ、手に取り慣れ親しむ学習環境が構築されました。

また、学校図書館では、これらセットを活用した講習会、野外学習会、自由研究、クラブ活動、読図会等様々な活動が行われたほか、教室での授業にも貸し出され、活用されたとの報告がなされました。

5. 課題と今後の展開

プロジェクトを通して以下の課題も明らかになりました。

1) 先生方や学校司書の皆さんの指導力の強化:

地形図を日常的に活用するには、さらに先生方への支援が必要です。

2) 継続的な資金確保:

地形図セットや利活用事例の更新と先生方や学校司書の皆さんの指導力の維持と向上には、継続的な取り組みのための資金確保が課題となります。

3) 地域間格差の解消:

地域や学校の特性に応じた柔軟なサポートが求められます。

4) 今後の展開

これらの課題を解決しながら、全国学校図書館への地形図活用と活用を進めるための体制を整備し、教育効果のさらなる向上を目指すとともに、全国は配備のための政策、予算措置の実現を目指します。

II 政府刊行地図等の販売に関する事業（その他事業）

1. 政府刊行地図等の販売

国土地理院刊行の地形図等及び数値地図の令和6年度（4月1日～3月31日まで）の販売状況は、次のとおりです。

また、新刊面数は令和6年度（4月1日～3月31日まで）で、2万5千分の1多色469面、でした（4月40面、5月33面、6月35面、7月36面、8月35面、9月33面、10月35面、11月34面、12月33面、1月33面、2月60面、3月62面）。

1) 地形図等販売状況

区 分	令和6年度 (A)	前年度 (B)	前年度比 (A/B)
1 万分の 1 地形図	7 7 6 枚	1, 0 0 3 枚	0. 7 7
2 万 5 千分の 1 地形図	1 4 7, 6 3 0 枚	1 6 1, 8 7 7 枚	0. 9 1
5 万分の 1 地形図	2 4, 9 4 7 枚	3 1, 3 3 9 枚	0. 7 7
20 万分の 1 地勢図	5, 3 5 9 枚	5, 8 8 1 枚	0. 9 1
その他	7 6 7 枚	1, 0 4 9 枚	0. 7 3
計	1 7 9, 4 7 9 枚	2 0 1, 1 4 9 枚	0. 8 9

2) 数値地図販売状況 (CD-ROM)

区 分	令和6年度 (A)	前年度 (B)	前年比 (A/B)
2, 5 0 0 (空間データ基盤)	5 枚	1 枚	5. 0 0
2 5, 0 0 0 (空間データ基盤)	1 枚	1 枚	1. 0 0
2 5, 0 0 0 (地図画像)	8 8 枚	5 9 枚	1. 4 9
5 0, 0 0 0 (地図画像)	4 3 枚	1 8 枚	2. 3 9
2 0 0, 0 0 0 (地図画像)	8 枚	9 枚	0. 8 9
5m メッシュ (標高)	0 枚	4 枚	—
1 0m メッシュ (火山標高)	0 枚	—	—
5 0m メッシュ (標高)	0 枚	—	—
2 5 0m メッシュ(標高)	2 枚	5	0. 4 0
2 5, 0 0 0 (行政界・海岸線)	0 枚	—	—
2 5, 0 0 0 (地名・公共施設)	0 枚	—	—
5 0 0 万 (総合)	0 枚	2 枚	—
2 5, 0 0 0 (土地条件)	4 枚	6 枚	0. 6 7
5 0 0 0 (土地利用)	1 2 枚	6 枚	2. 0 0

計	163枚	106枚	1,47
---	------	------	------

2. 「巡検の旅」の開催

地図等の普及啓蒙及び地図と実際との検証を目的として、昭和49年度（1974年）から、地図に親しむ巡検の旅を実施していましたが、令和6年度の「巡検の旅」は昨年同様に見送りとしました。

3. 定例の執行理事会等の開催

関係理事及び監事を招集して、原則毎月第3週火曜日に定例会議を開催して事務局事務の運営を以下のとおり実施しました。

令和5年度 4月16日（火）14時～15時30分

令和6年度 6月18日（火）第1回定例会議 Web会議

7月16日（火）第2回定例会議 Web会議

8月17日（火）第3回定例会議 Web会議

9月17日（火）第4回定例会議 Web会議（会議日程間隔により開催見送り）

10月15日（火）第4回定例会議 Web会議

11月19日（火）理事会 Web会議

12月17日（火）第5回定例会議 Web会議（Web会議見送り会議資料をメール配布）

1月21日（火）第5回定例会議 Web会議

2月18日（火）第6回定例会議 Web会議

3月18日（火）第7回定例会議 Web会議

主な審議事項は次のとおりです。

○令和5年度 4月定例会

1. 第23回理事会資料の確認（令和6年5月14日Web開催）

1) 審議事項

第1号議案 令和5年度 事業報告（案）

第2号議案 令和5年度 収支報告・決算報告（案）

第3号議案 令和6年度 事業計画（案）

第4号議案 令和6年度 収支予算（案）

第5号議案 地形図2027対応について

2) 報告事項

報告事項第1号 理事長の職務の執行状況報告

報告事項第2号 業務執行理事の職務の執行状況報告

2. 会員増（収入確保）について

1) 特別会費及び普通会員会費収入

2) 事業収入と賛助会員及び個人会員

3) 支出削減（後援金・事務委託など）検討

3. 協会存続に向けた諸問題の課題化について

1) 目的と使命

2) 求める成果、目標値

○令和6年度 第1回定例会

1. 総会開催決議報告
2. 新宿西口測量の日記念イベント実施報告
3. 地図の販売についての課題対応
 - 1) 会員社への挨拶状新年度活動について
 - 2) 地図センターとの協働
 - 3) その他

○第2回定例会

1. 地図展推進協議会報告
2. 地図の販売についての課題対応
 - 1) 会員社への挨拶状新年度活動について
 - 2) 地図センターとの協働
- ・地形図のある学校図書館の創設実行委員会 R6 年事業について
- ・全国地理教育研究会 2024 年度大会（大阪大会）に参加予定

<https://sites.google.com/view/zenchiken/2024%E5%B9%B4%E5%A4%A7%E4%BC%9A>

（7月28日 11:30～12:00 講演）

- 3) その他
 - ・国土地理院長、参事官の交代について
 - ・国土地理院への挨拶訪問について

○第3回定例会

1. 地図展開催に係る件
2. 地図の販売についての課題対応
3. 地図センターとの協働
 - ・地形図のある学校図書館の創設実行委員会 R6 年事業について
 - ・全国地理教育研究会 2024 年度大会（大阪大会）に参加報告

<https://sites.google.com/view/zenchiken/2024%E5%B9%B4%E5%A4%A7%E4%BC%9A>

（7月28日 11:30～12:00 講演）

4. 防衛省部隊地図の部外印刷検証について
5. その他
 - ・国土地理院長、参事官の交代について
 - ・国土地理院への挨拶訪問について

○第4回定例会

1. 地図展開催に係る件（事務局）
2. 協会事業についての課題対応
 - 1) 会費納入状況（事務局）
 - 2) 地図センターとの協働
- ・地形図のある学校図書館の創設実行委員会 R6 年事業経過報告

・教育ネットワーク&コミュニティ構築について

3) R7 年度図書館振興財団助成事業について

・公共図書館向け地図パッケージ化検討

・地図司書（マップライブラリアン）機能提案

4) 防衛省部隊地図の部外印刷実証作業について

・5万地形図としての利用可能性

・紙地図維持に向けた協力関係

・地理情報隊への意見交換申入れ

5) 会員増募&民間企業、団体との協力関係構築

教育ネットワーク&コミュニティ構築について 既存団体との連携

GISMAP 他（5万地形図）新技術の提供、窓（高校へ導入実績、100億のDX予算）

・ゼンリン、昭文社、紀伊国屋、有隣堂、地図情報センター、水路協会など

○11月定例会→理事会として開催

○12月定例会メールによる資料確認

○第5回定例会

1. 事務局報告

半期が終了し50万弱のマイナス1～2年での基盤改善が急務で個人会員と賛助会員、法人会員の獲得を進めることが重要課題であることを確認。

・地図展開催（参加）報告

・理事会開催について

・会費納入状況確認

2. R7 年度図書館振興財団助成事業について

公共図書館向け事業は、次年度以降にエントリーする方向で関係者の支持を得る為の準備を進める方針を確認

・公共図書館向け地図パッケージ化検討

・地図司書（マップライブラリアン）機能提案

3. 国土地理院対応

長谷川企画部長→次回意見交換（ネクストアクション）

協会の状況については、ある程度お伝えすることが出来た。今後は継続的に意見交換、申入れ、陳情などを行うことで国土地理院から望ましい回答・対応を引き出すことが重要

4. 地形図等利活用シンポジウムについて（日本地図センターとの共有・意識合わせ）

①当日プログラム、役割分担確認等

②事前準備（受付名簿等）及び当日準備（機材調整など）

③会場案内、受付、掲示物、配付物

④講演者、来賓対応準備

⑤広報、周知宣伝（HP・SNS・関係誌掲載・関係団体訪問、ダイレクトメール）

⑥記録（音声、動画、講演概要）

⑦その他

○第6回定例会

1. 地図流通実態調査について

1) 地図センターからの協力依頼について（業務遂行にあたって）

2) 本調査業務の背景と影響について

- ・発注者の地理院の意図（狙い）と日本地図センターの複製頒布事業との関連は如何に
- ・市場在庫数と機能している販売店を把握する事で何に繋げるのか？
- ・地理院地図有償配信設計と点群データの新たな販売形式と複製頒布事業との相関関係について
- ・地図協会への事前の情報提供が地理院のみならず地図センターや元売りからも寄せられないのか。

2. 図書館プロジェクト（R6 事業）進捗とクロージング

・「助成事業終了後」の仕組みづくりを検討する必要あり

→助成事業で得た「関係者の輪」を既存組織に如何にして繋げてゆくか

「関係者の輪」と既存組織結び付けた形でのネットワーク構築、コミュニティ形成

・図書館プロジェクト事業の定着、全国展開に如何にして繋げるか

・地形図刊行の維持継続に向けた活動、仕組み（地理院への要望、意見交換）

以上の問題点を含めて、シンポジウム開催後にクロージングの委員会を開催する。

3. 地形図等利活用シンポジウムについて

○第7回定例会

1. R7 特別会費について

2. 地形図等利活用シンポジウムについて（実施報告）

3. 地形図セットの全国配備

1) 生徒1人に1枚の地形図配付

2) 教育の場における地形図の有用性は示された

3) 有用性を理解できていない層に対して

4) 図書館プロジェクト助成事業クロージング

・図書館プロジェクト事業の定着、全国展開に如何にして繋げるか

・持続可能な地形図刊行の仕組み（地理院への要望、提案）

参考（持続可能な地形図刊行のイメージ）

◆防衛省地図補給印刷	70万枚/年	地形図販売数	20万枚弱
陸上自衛隊員	15万人弱	小学校教育児童	600万人
海上自衛隊員	5万人弱	中学校生徒数	300万人
航空自衛隊員	5万人弱	小学校数	2万校
予備自衛官	5万人弱	中学校数	1万校
毎年	小学校2年時に児童1人に1枚	100万枚	
	中学校2年時に生徒1人に1枚	100万枚	
	3万校うち1/3の学校へ地形図セット配付	100万枚	
計		300万枚/年	@600円 18億円
6000面の更新費用	@20万円/面	12億	3年に1回 4億
6000面の印刷費用	@10万円/面	6億	〃 2億
計			6億/年
流通	300万枚 @300円	9億/年	

計15億/年

その他

- ①協会活動年間スケジュール表作成
- ②表章推薦候補者リスト作成
- ③地図展 2025 がさいたま市
- ④くらしと測量・地図展

4. その他の活動

- ①地形図のある学校図書館の創設実行委員会
- ②国土地理院との意見交換
- ③地形図のある学校図書館の創設専門委員会

以上